

2017年4月20日

報道関係各位

沢井製薬株式会社
アップシャー・スミス・ラボラトリーズ

沢井製薬、米国ジェネリック医薬品企業 アップシャー・スミス・ラボラトリーズ社の買収に合意

世界から認知されるジェネリック医薬品企業の実現に向け、本格的に米国市場へ進出

沢井製薬株式会社(TSE:4555、本社:大阪府淀川区、代表取締役社長:澤井光郎、以下:沢井製薬)とアップシャー・スミス・ラボラトリーズ社(本社:米国ミネソタ州、未上場、最高経営責任者(CEO):マーク・エヴァンスタッド、以下「USL」)は本日、沢井製薬が USL のジェネリック医薬品事業を買収すること(以下「本件」)に合意しました。

沢井製薬は新たに設立した当社の米国子会社を通じて USL のジェネリック医薬品事業を取得し、完全子会社にする予定です。USL の取得金額は 1,050 百万米ドルで、金融機関からの借入金および手元資金より調達します。本件は、2017年6月末までの完了を予定しています。

米国においてジェネリック医薬品の研究開発、製造、販売を手掛ける USL は 1919 年の創業以来、人々の生活を向上する高品質な医薬品を提供することに注力しています。USL は、経口固形製剤を中心とした約 30 品目の多様な製品ポートフォリオ及び 30 品目を超えるパイプライン製品を有し、米国のジェネリック市場において揺るぎない地位を築いています。

沢井製薬は、日本政府の「骨太の方針 2015」にある、ジェネリック医薬品の数量シェアを「2018 年度から 2020 年度末までの間のなるべく早い時期に 80%以上」にするとの方針が掲げられたことを受け、2016 年 8 月に修正発表した中期経営計画「M1 TRUST 2018」において、ジェネリックシェア 80%時代に対応した安定供給能力とコスト管理能力の強化を進めてきました。生産設備投資計画も前倒しで実行し、持続的成長の基盤を強化しています。そして新たな成長の実現のために、世界最大のジェネリック医薬品市場である米国市場での基盤構築の強化にも取り組んでおり、2017 年 2 月 10 日に日本のジェネリック専門メーカーとして初のパラグラフⅣによる承認を取得³しています。

今回の買収合意により、沢井製薬は USL を通じて本格的な米国市場進出を果たし、今後は、これまでに蓄積してきた知財戦略や製剤技術力及び USL の米国国内の販売網、生産設備、ブランド力を活用しながら一体となって米国事業を展開することになります。沢井製薬は、高品質で付加価値のあるジェネリック医薬品を、日本だけでなく米国の患者さんにも提供できることになります。

沢井製薬の代表取締役社長である澤井光郎は、本件について次のように述べています。

『なによりも患者さんのために』という企業理念のもと、沢井製薬は 2020 年度末までに世界から認知されるジェネリック医薬品企業として売上高 2,000 億円以上を達成することを目標として掲げています。2013 年 6 月の米国子会社設立及びパラグラフⅣによるピタバスタチンの承認申請以来、本格的に米国市場へ挑戦するためのプラットフォームを探してきました。USL のように、米国内で認知度が高く、研究開発、製造、薬事及び販売能力を有し、更に米国ジェネリック医薬品事業経験に長け、揺るぎない事業基盤を有する USL を沢井製薬の一員にすることは飛躍的成長の実現に不可欠だと考え、買収の合意に至りました。」

USL の社長であるラスティ・フィールド氏は、次のように述べています。

「この度、沢井製薬の一員になることにより、私たちは、グローバル企業として飛躍的成長の実現に向けた新たな段階に入ることに喜びを感じています。ここ数ヶ月におよんだ沢井製薬の経営陣との対話で、両社共に 100 年近い歴史を有しており、企業理念と品質を重視するビジョンにも多くの共通点があると確信しました。『なによりも患者さんのために』という企業理念のもと、ともに世界から認知されるジェネリック医薬品企業へと飛躍するため、その実現にまい進していきます。」

本件により、2017 年 3 月期連結業績予想に与える影響はありません。2018 年 3 月期業績に与える影響は、詳細が確定した段階で、速やかに公表します。

以上

注釈:

- 1 1 米ドル=110 円換算で約 1,155 億円に相当
- 2 実行日については、現時点での暫定的な予定であり、米国における競争法に基づく関係当局の承認に係る手続き状況等の事情によっては、実行日が変更される可能性があります。
- 3 2013 年 8 月に米国食品医薬品局 (FDA) に対し、HMG-CoA 還元酵素阻害剤ピタバスタチンについて医薬品簡易承認申請 (Abbreviated New Drug Application; ANDA) を提出し、2017 年 2 月 10 日に日本のジェネリック専業メーカーとして初のパラグラフⅣによる承認を取得しております。2016 年 6 月 28 日には選択的 β 3 アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤ミラベグロンについて ANDA を申請したほか、今後も継続的にパラグラフⅣの取り組みを進める所存です。

【沢井製薬株式会社】

1929 年大阪で澤井薬局として誕生。薬局が希少な時代でもあり、医薬品販売で地域住民に貢献していたが、戦前・戦後を通じた混乱期に医薬品不足を体験したことから、社会の要請に応えるべく 1948 年に澤井製薬株式会社 (現: 沢井製薬株式会社) を設立し、大衆医薬品メーカーに転身。その後、1965 年に医療用医薬品メーカーへの転換を経て、ジェネリック医薬品業界のリーディングカンパニーへと成長。「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、1997 年より新聞広告やテレビ CM を通じ、ジェネリック医薬品の認知向上に取り組んできた。今後さらに普及拡大の見込まれるジェネリック医薬品を安定的に患者さんのもとへお届けするために、全国 7 工場のネットワーク力で生産体制の強化に取り組むと共に、「一つ上の品質を目指す」をモットーに、高品質で付加価値の高い医薬品の開発も積極的に行っている。(沢井製薬について: <http://www.sawai.co.jp>)

【アップシャー・スミス・ラボラトリーズ】

アップシャー・スミス・ラボラトリーズ社 (Upsher-Smith Laboratories, Inc.) は、1919 年、薬剤師のフレデリック・アルフレッド・アップシャー・スミス (Frederick Alfred Upsher Smith) によって設立。人々の生活の質の向上と、高価値で高品質の治療とソリューションを提供することを使命に、ファミリー経営の製薬企業として、ダイナミックな医療環境への適応を実現し、成功を収めている。時代が進化し、患者さん、医師、薬剤師、医療機関の需要も変化する中、治療への



アクセスを簡素化し、より良い健康をもたらす、生活の質を高めるためのソリューションを提供し続けている。(USLについて:www.upsheer-smith.com)

【アドバイザー】

沢井製薬に対してTorreya Partners LLC およびSMBC日興証券株式会社がファイナンシャル・アドバイザー、Debevoise & Plimpton LLPがリーガル・アドバイザーを務めた。USLに対しては、J.P. Morgan Securities LLC 及びBMO Capital Marketsがファイナンシャル・アドバイザー、Lindquist & Vennum LLPがリーガル・アドバイザーを務めた。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

沢井製薬株式会社

戦略企画部広報・IRグループ

電話:06-6105-5718 / E-mail: koho@sawai.co.jp

エデルマン・ジャパン株式会社

沢井製薬に関する英語のお問い合わせ及びUSLに関するお問い合わせ先

電話:03-4360-9000